

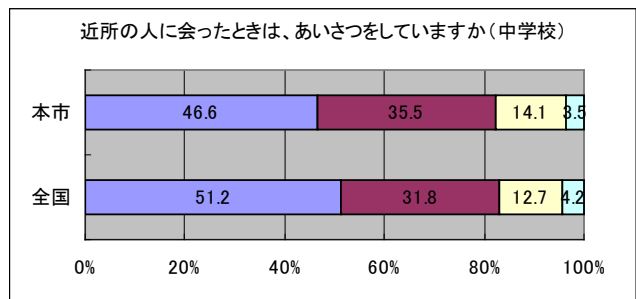
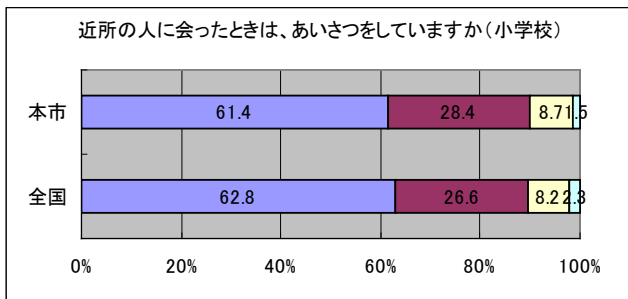
子どもの姿「共に生きる力」

四日市市教育ビジョンでは、「生きる力」に加えて、「共に生きる力」を備えた子どもを、めざす子どもの姿として捉えています。

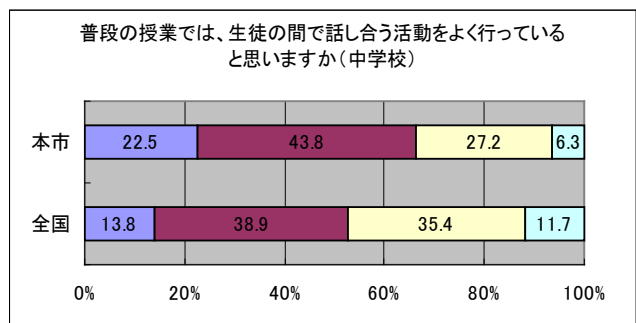
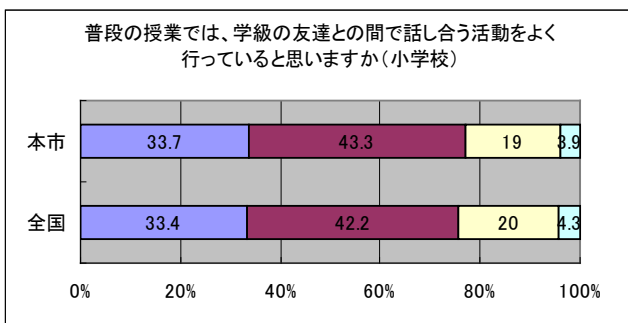
- 「共に生きる力」をあらわす子どもの姿
- (1) コミュニケーション力・・・他の意見を聴き、自分の思いを伝える力を身につけた子ども
 - (2) 互いに向上する人間関係・・・互いに切磋琢磨し、向上しようとする子どもたち

平成21年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果（小学校6年生・中学校3年生）から、四日市市の子どもたちの「共に生きる力」に関する項目の一部を、全国と比較しながら以下のグラフで見えていきます。

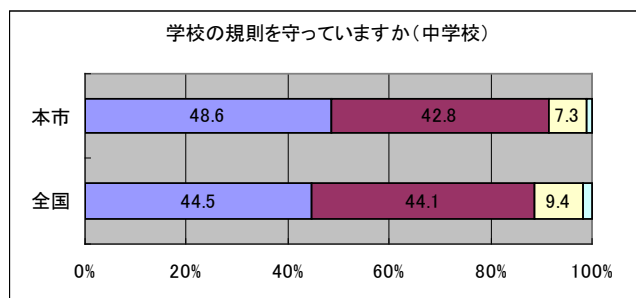
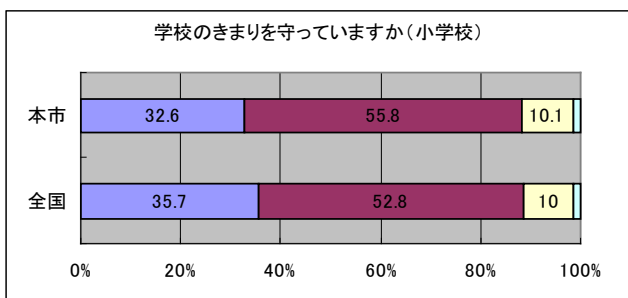
【凡例 はい どちらかといえばはい どちらかといえばいい いいえ】



・上のグラフから、「あいさつをしている」と答えた中学生は少ないものの、ほぼ全国と同じ傾向にあることがわかります。子どもや大人が進んであいさつをするための学校での取組や、保護者・地域への啓発活動が必要です。

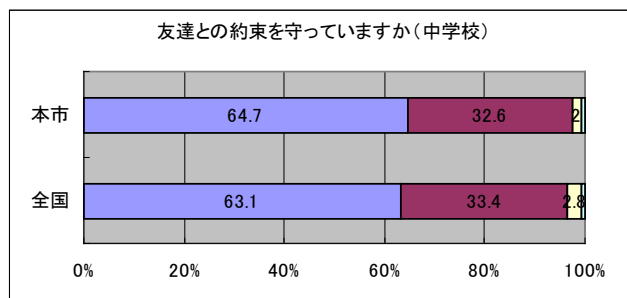
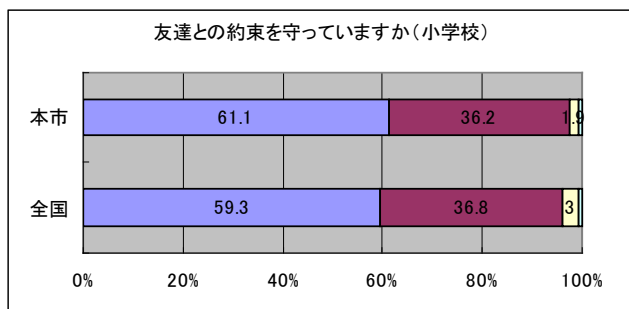


・上のグラフから、「思う」と答えた中学生が全国を上回り、授業において活発に話し合い活動が行われていることがわかります。

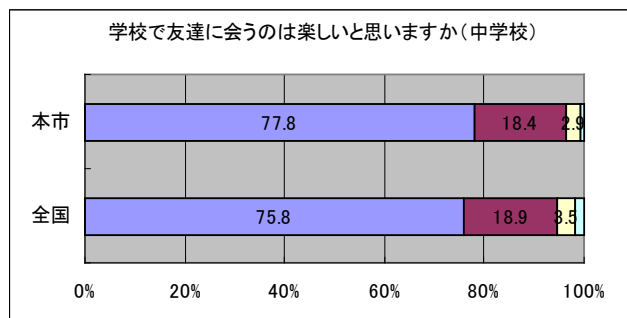
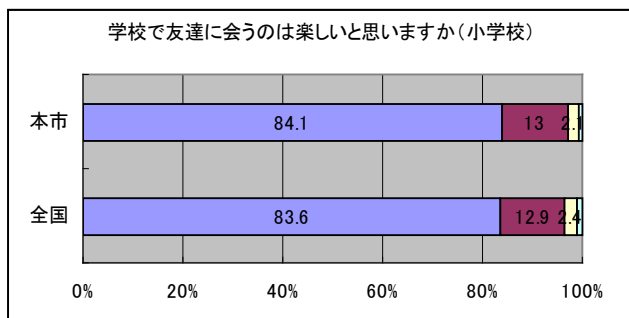


・上のグラフから、中学生の規範意識は全国より高い傾向にあることがわかります。

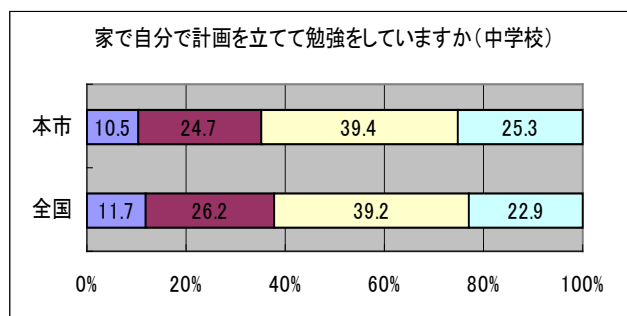
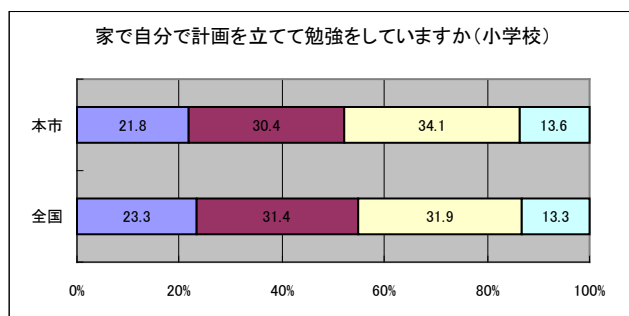
第1章 子どもの姿



・上のグラフから、「約束を守る」と答えた児童生徒はともに全国を上回り、友達との信頼関係を築こうとする姿勢がうかがえます。



・上のグラフから、「学校で友達に会うのは楽しい」と答える子どもの割合は、小・中学校ともに全国を上回っており、ほとんどの子どもたちは、仲間との良好な関係を築けていることがうかがえます。



・上のグラフから、「自分で計画を立てて勉強している」と答えた子どもの割合は、小・中学校ともに全国より低い傾向にあることがわかります。

・グラフの他にも、以下のような傾向が見られます。

〈全国平均に比べて高いもの〉

- ・家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べている小学生の割合
- ・普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると答えた中学生の割合
- ・普段の授業で、グループで調べる活動をよく行っていると思う中学生の割合

〈全国平均と比べて低いもの〉

- ・家の人と学校での出来事について話をしている小学生の割合

以上のように、四日市市の子どもたちの「共に生きる力」については、概ね良い人間関係を築きながら学校生活を過ごしていると思われます。しかし、コミュニケーション力の育成や、互いに切磋琢磨し向上する子どもたちの育成については、一人ひとりの自主的・主体的な態度が大切であり、それらの育成が今後の重要な課題と考えられます。